

## FA 分野における中長期市場予測調査

### 【調査結果の概要】

本調査ではセット危機(3 品目)の生産数量と制御機器(6 品目)の販売数量について、日本を含めた世界の主要エリアの市場トレンドをとりまとめ、2012 年から 2018 年にかけての中長期の市場予測を実施した。

#### ◆セット機器市場規模予測

##### (1) 工作機械(生産ベース)

2013 年(実績)965 千台→2018 年(予測)1,562 千台(2013 年比 62%増)

(中長期予測のポイント)

新興国の人口増加、経済成長に伴う耐久消費財の需要増加による工作機械需要が増大、中国ローカルメーカーによる中国生産が増加すると見られる。日米欧の大手工作機械メーカーは物流コスト削減などを目的とした生産拠点の新興国移管を行っているケースがあり、地産地消の動きが拡大すると同時に、機械の高度化が見込まれる。工作機械需要は自動車産業に影響される傾向が高く、今後は新興国市場での自動車需要増加に伴い、生産台数の拡大が見込まれる。

##### (2) 産業用ロボット(生産ベース)

2013 年(実績)429 千台→2018 年(予測)594 千台(2013 年比 38%増)

(中長期予測のポイント)

東南アジアへの生産シフトは進むが、中国は引き続き最大の需要地と予想される。主要アプリケーションである自動車関連の設備投資が活発で、中国の人件費高騰もプラス要因に働き、2013 年以降も好調に推移する見通しである。生産トレンドは「地産地消」型であり、今後、本格的に FA 化が進む中国における生産が拡大する方向にある。アジア市場等の製品は中国で生産し、短納期対応・現地 Sier との連携強化を図ることで、新興国需要を取り込む動きが高まると見られる。

##### (3) 半導体製造装置(生産ベース)

2013 年(実績)40 千台→2018 年(予測)45 千台(2013 年比 11%増)

(中長期予測のポイント)

中期的にも生産台数の地域的な動向で変化はなく、半導体主要製造装置は日本における生産が引き続き多いと見られる。

#### ◆主要制御機器市場規模予測

##### (1) CNC(販売ベース)

2013 年(実績)394 千台→2018 年(予測)635 千台(WW 全体 CAGR10.0%)

中国の CAGR が 13.1%と最も高い伸びが予測されているほか、アジア(日本、中国を除く)では CAGR が 13.3%と予測されており、今後も堅調に成長すると見込まれる。

(2) PLC(販売ベース)

2013年(実績)8,622千台→2018年(予測)11,480千台(WW全体 CAGR5.9%)  
中国の販売規模は2,327千台と最も市場規模が大きく、CAGRでは6.8%が予測されている。

(3) 汎用インバータ(販売ベース)(WW全体 CAGR7.0%)

2013年(実績)13,929千台→2018年(予測)19,550千台  
中国の販売規模は6,700千台と最も大きく、CAGRは6.5%となっている。

(4) サーボドライブ(販売ベース)(WW全体 CAGR4.9%)

2013年(実績)4,931千台→2018年(予測)6,261千台  
中国の販売規模は847千台と最も大きく、CAGRでも高い値を示している。また、アジアにおいても、販売規模、CAGRとも堅調な推移が見込まれている。

(5) プログラマブル表示器(販売ベース)(WW全体 CAGR6.8%)

2013年(実績)2,854千台→2018年(予測)3,958千台  
中国の販売規模が878千台と最も大きく、CAGRでは9.6%の数値が認められている。

(6) センサ[近接・光電](販売ベース)(WW全体 CAGR4.3%)

2013年(実績)49,555千台→2018年(予測)61,026千台  
北米の販売規模が14,290千台と最も大きくなっているが、CAGRは4.8%の予測となっている。  
また、中国の販売規模は6,452千台であるがCAGRは7.0%、アジアに至っては4,496千台のCAGRは7.8%となっている。

《調査対象》

2012年実績～2018年予測

- ・セット機器(工作機械、産業用ロボット、半導体製造装置)
- ・制御機器(CNC、PLC、汎用インバータ、サーボドライブ、プログラマブル表示器、センサ(近接・光電))
- ・地域区分(日本、北米、欧州、中国、アジア、その他)